

胎内市

Tainai City Assembly



議会だより

平成22年

11月1日

No.23

(臨時号)



定数18名の議会

発足!!



富樫議長

桐生副議長

議長に、富樫 誠 氏

副議長に、桐生 清太郎 氏

初議会

二年間の議会

構成決定!!

平成22年
第2回
臨時会
10月1日

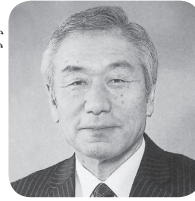
市議会議員選挙後、初の議会が10月1日に招集され、議長並びに副議長の選挙、各常任委員会及び議会運営委員会委員を選任したほか、企業誘致促進特別委員会、議会報編集特別委員会の設置と委員の選任を行い、それぞれの委員長及び副委員長を互選しました。

また、関係市町村で共同処理する事務を行うために組織されている新発田広域事務組合と下越清掃センター組合の議会議員の選出を行い、その後、市長から監査委員の選任による、同意1件の議案が提出され、起立採決により原案のとおり同意されました。



副議長
桐生清太郎 議員
(厚生環境常任委員)
(鼓岡)

市民の声を市政に反映する旨を基本に、公正、公明な議会運営に努める。



議長
富樫 誠 議員
(総務文教常任委員)
(船戸)

腕より始めよ。できる事、言いだした者から責任を持って行動できる議会に。

総務文教常任委員会



委員長
森田 幸衛 議員
(北成田)
(議会運営委員)

未来に希望が持てる、魅力ある胎内市をめざして、努力してまいります。



副委員長
高橋 政実 議員
(荒井浜)

市民目線・財政健全化。子ども達にスポーツの楽しさと平和な未来を！



渡辺 宏行 議員
(星の宮町)
(議会運営委員長)

若者に雇用・高齢者に安心・地域に活力。元気な胎内市を目指して頑張ります。



赤塚 タイ 議員
(築地)

地場産業の育成と雇用促進による若者の定着を図る。



渡辺 俊 議員
(近江新)
(議会運営委員)

温かな福祉、利便さと豊かな自然をあわせ持つまちづくりを目指します。



委員長
新治ひで子 議員
(二葉町)
(議会運営委員)

環境、子育てと教育、福祉の充実など生活上の身近な問題の改善に取組みます。



副委員長
花野矢次兵衛 議員
(八幡)
(議会運営副委員長)

初心忘れず、目指すもの(公約)を実現するよう誠心誠意がんばります。



丸山 孝博 議員
(西本町)
(議会運営委員)

初心忘れず、市政をチェックし、市民のくらし福祉向上のため、がんばります。

厚生環境常任委員会



松井 恒雄
(西条町) 議員

子育て・高齢者にやさしく、住んで良かったと言われるまちづくりに努めます。



天木 義人
(乙) 議員

市民の声が反映出来る市政と、郷土の発展と雇用の促進に努めます。



小林 兼由
(築地) 議員

目先の事だけにとらわれず、将来も視野に入れた自治を求めて行く。



副委員長
松浦富士夫
(菅田) 議員

初心を忘れず、市民の目線で活力ある胎内市を目指し取り組んでまいります。

産業建設常任委員会



菅原 市永
(高野) 議員
(議会運営委員)

市民本意の政治姿勢で活動し、定住安定の為、企業誘致、観光振興の促進を。



八幡 行雄
(笹口浜) 議員

「明るく、住よく、元気よく」の胎内市の活性化を実践と行動で実現したい。



佐藤 秀夫
(黒川) 議員

うるおいと活力のあるまち胎内市を目指し、市民の皆さんと共にがんばります。



薄田 智
(江尻) 議員

胎内をもっともっと元気に！夢は未来へ！議員の責任と役割を果たして参ります。

平成22年
第1回臨時会
8月19日

主な内容

一般会計補正予算

歳入歳出の総額に、歳入歳出それぞれ4,341万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ148億7,241万円とする。

・民生費

心身障害者福祉費、及び児童福祉総務費において、前年度事業の精算分として補助金返還金をそれぞれ計上。

・衛生費

予防費に、子宮頸がん予防ワクチン接種費用の助成金及び、事務諸費経費を計上。予防ワクチンの助成金対象者は、中学校1年生の女子となっているが、本年度は、助成を開始する初年度ということから、特例と

して、中学校1年生から3年生までの女子を対象とする。

・農林水産業費

農業振興費に米粉用米の市場価格の急激な下落に対し、生産者への所得補償のためによる、米粉用米価格下落補填事業補助金を計上。

主な質疑

【質問】 米粉用米価格下落補填事業補助金について、今後、市が補助金を補填しなくても、やっていたりける方法はあるのか。

【質問】 米粉用米価格下落補填事業補助金について、今後、市が補助金を補填しなくても、やっていたりける方法はあるのか。

【答弁】 国の政策が、どのように変わるかというものが大きく左右するが、今後の動向を見きわめた上で、価格が幾ら、面積が幾らというものを、年内の早い時期に3者で、協議を行って決定したい。

【質問】 来年卒業する中学校3年生は、子宮頸がん予防

ワクチン助成金のうち、3回接種分も含まれるのか。

【答弁】 中学校1年生から3年生を含め、平成22年10月1日から平成23年の9月30日までを助成の対象とする。

【質問】 子宮頸がん予防講演会の開催時刻が午後6時からであるが、午後7時までにできなかったのか。

【答弁】 保護者の仕事が終わって、子どもたちと一緒に参加できる時間帯にと、考えた結果である。ご理解願いたい。

【質問】 市外の中学校へ通う生徒たちへの周知徹底は。

【答弁】 個別に学校へ通知したいと考えているが、住民登録されている対象者全員に通知する予定。

以上、慎重審議の結果可決された。

企業誘致促進

特別委員会

委員長 渡辺 俊

副委員長 天木 義人

委員 松井 恒雄

赤塚 タイ

八幡 行雄

佐藤 秀夫

新潟県後期高齢者医療

広域連合議会議員

富樫 誠

新発田広域事務

組合議会議員

富樫 誠

小林 兼由

新治 ひで子

森田 幸衛

下越清掃センター

組合議会議員

富樫 誠

桐生 清太郎

丸山 孝博

渡辺 宏行

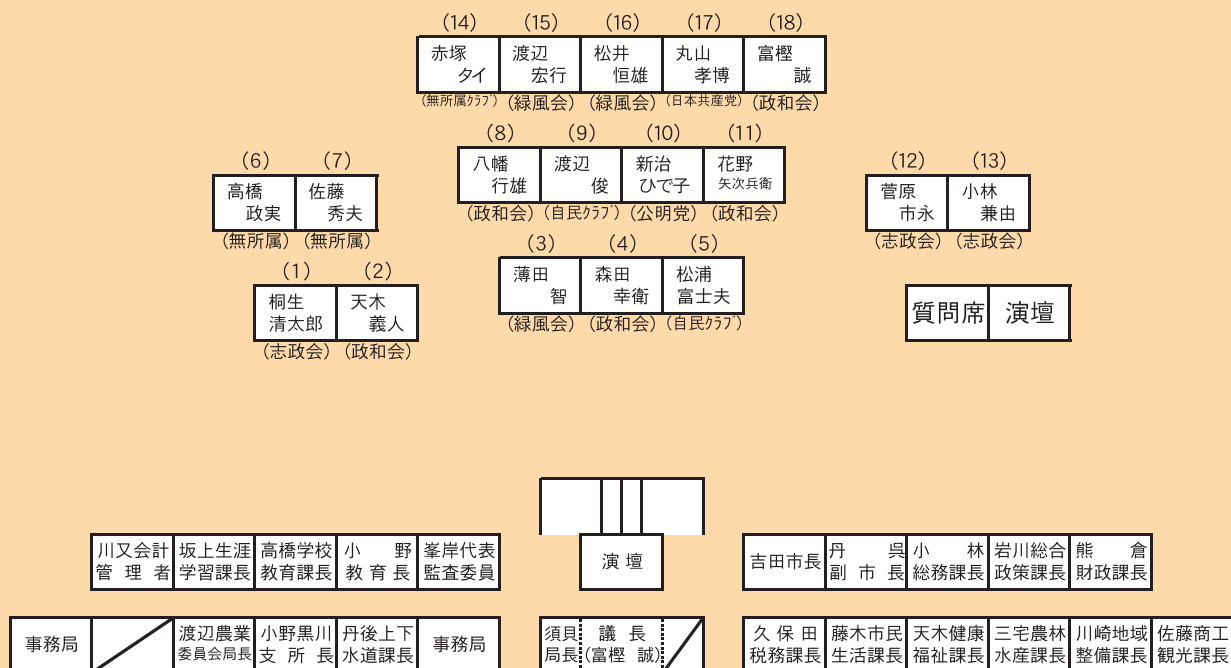
赤塚 タイ

花野 矢次兵衛

佐藤 秀夫

薄田 智

議場配置図



編集後記

新たな市議会議員18名の議会が発足しました。

しかしながら定数8減で、市民の声「届かず届けられず」にならない努力が必要です。この議会報もその一翼を担っている事

から、市民・モニターさんの声を大切に改めるところは改める姿勢でのぞみます。

幸いこの度の委員は一期から四期議員まで多様ですので皆の英知に期待しているところです。

皆様方の御協力御指導お願いいたします。

(高橋)

